

# ぎやらりー わ

NO.76

2016年10月号

編集・発行 NPO法人グループわ (小畑 浩昭) ホームページ <http://www.wa-net.jp>  
〒651-1102 神戸市北区しあわせの村シルバーカレッジ内 TEL.078-743-8101 FAX743-3830



●花の村内散歩  
キバナコスモス (藤田撮影)

## 夏休み工作塾

## ソーラーカー作り教室



### 創エネ神戸開催

夏休み工作塾 (グループわ と市民福祉振興協会の主催) の一環として〈わ〉の創エネ神戸は8月21日午前10時から、しあわせの村研修館で「ソーラーカー作り教室」を開きました。小学4年生～6年生の15組が参加。生環18期のグループ学習仲間の山田通裕代表、福田進、水上義彦、岡本紘一さんの4人が子供たちの講師役。ボディは牛乳パックを細工、三角柱を作り、その斜めの一番広い面にソーラーパネルを貼り付けます。20台の台車は山田代表の手作り。様々な部品は100円ショップも利用して単価が安くなるよう工夫。約90分かち完成。屋外に出て車体のソーラーパネルに太陽光を当て1分間充電。部屋に持ち帰り、4組に分かれてレースです。スイッチを入れるとすごい速さで走り、子どもたちは「すごい」と大喜び。夏休みの宿題用とか。(取材・写真 広報 永野知己、3面に関連記事)

## 〈わ〉20周年記念事業実行委が発足

### 76号の内容

熊本地震サポート隊 11月派遣	3面	活動レポート	8面
水の科学館スタッフ誌上座談会	4 5面	こべっこランド秋祭り 学園祭	9面
ボランティア最前線(灘区会)	6面	イベント予定 10月～12月	10面
ボランティアの心	7面	WAからのお知らせ	11面



ボランティアの輪をひろげよう

## 実行委員長 小畑 浩昭

来年の7月22日で、グループわ の設立から20年の節目を迎えます。20周年記念事業を計画し実行するために、昨年12月に準備委員会を発足して、記念事業の方向性を見出すために12月末から会員の皆様に広くアイデアの募集をし、計画の骨子づくりをしてきました。

そして9月6日（火）に実行委員会を立ち上げることができました。



第1回実行委員会で挨拶する小畑委員長

ご承知のとおり、グループわ は阪神淡路大震災の復旧ボランティアから地域に芽生えたカレッジの学生の輪・ボランティア活動の輪、日常何気なく行っている「他を思いやる行動」を個人からグループ活動へという形で、神戸市シルバーカレッジの建学精神「再び学んで他のために」を卒業後も実践する組織として平成9年に設立されました。設立当初は「川重シルバー基金」の運用益が唯一の活動の資金で財政的に恵まれたわけではありません。様々な助成金をいただきながら運営されたとお聞きします。

その後、会費制を採用し、平成16年にはNPO法人へ移行、先輩方の様々な努力の結果、幅広い活動の場を得ることができ、今日まで拡大発展を続け、今ではグループわ は会員が1,400人を超え、活動グループが約60、9区に区会組織を持つ全国でも例のないボランティア組織になっています。

私は、この20周年の記念事業を①グループわ の会員と共に祝うこと②グループわ を支えていただいた多くの方々、関係機関の方々への感謝の場であること③そして何よりも、神戸市シルバーカレッジの学生にとって卒業後の社会還元、社会参加の場であることを認識していただくことなどに役立てたい。そして20周年記念事業を通じて、グループわ が持つ多様な社会還元のノウハウと人材を活用してさらに社会に貢献していくこと、こうした私たちの活動を通じて、今後、急速に進む高齢社会での社会参加の一つのモデルとな

ることを発信したい。会員の皆様方のご協力をお願い致します。

## 20周年支援金ご協力のお願い

来年1月に、送付の振込取扱票の会費1,500円を、来年に限り支援金500円を加えて、2,000円の協力を頂きたく、ご理解の程宜しくお願い致します。

## 20周年記念事業内容骨子(案)

第1回実行委員会で確認された事業内容骨子は以下の通りです。

1. 目的 20周年記念事業を行うことにより、内外の交流を深め広く活動を伝え、グループわ の更なる充実と発展を図る。

2. 実施時期・場所 記念式典は設立月日にシルバーカレッジで実施し、記念イベント・作品展示などは、シルバーカレッジ・しあわせの村各施設・須磨一ノ谷プラザ・水の科学博物館・その他で交流・体験イベントを実施する。

3. 実施事業 (1) 記念式典 (2) 記念イベント (3) 記念誌 (DVD) (4) 作品展示・販売を実施します。

対象はグループわ 会員・KSC卒業生・在校生を中心として、日頃の活動先関係者、一般市民の方も参加して頂けるものにし、広報活動にも努めていきます。

## 実行委員会組織体制

委員長:小畑浩昭(国16) 副委員長:水町亮治(生18)

記念式典部会 ◎米増享二(音19) ○戎井正俊(生17)  
柳川瀬淳一(国13) 堺 汎(園15) 北村 洋(生17)  
杉原ふき子(生18)

記念イベント部会 ◎四方久幸(国18) ○重松豊彦(国9)  
長谷川博(生9) 土井昭政(国10) 藤田忠之(福13)  
中谷一郎(生15) 堀池邦康(生17) 田路義弘(生17)  
内村ナナ子(国18) 古後健一(福18) 川部忠夫(福20)  
平松 一(生20)

記念誌(DVD)部会 ◎藤田健一(福19) ○細野恵久(福3)  
大掛敏夫(生7) 加藤勇治(美10) 永野知己(生18)  
岡本紘一(生18) 〈兼〉大槻隆文(食20)

作品展示・販売部会 ◎田中伸一(福19) ○島ノ江繁吉(生18)  
道満俊徳(生13) 木田育義(生16) 廣瀬庫司(園17)  
大槻隆文(食20) 五島敬子(食20)

事務局 ◎〈兼〉水町亮二(生18) ○市原俊彦(園20)  
南形徹(生14) 〈兼〉藤田健一(福19)

## 今後の取組について

実行委員会では、10月末までに基本計画検討、12月末までに全体計画完了、来年1月から本格作業に向けて取組を推進する方針です。



# 熊本地震サポート隊11月派遣

益城町の  
仮設団地

11日～13日 たこ焼きパーティーや演芸披露

グループわ は熊本地震サポート隊を11月11日（金）から13日（日）まで熊本県益城町の仮設住宅団地に派遣することを決め9月27日の運営委員会、10月4日の理事会で了承されました。訪問する仮設団地は、①小池島田95戸②安永70戸③飯野小48戸④赤井35戸の4か所。11日は訪問準備、12日、13日は午前と午後に分けて、各団地を1か所づつ回ります。各仮設団地は戸数が少ないので、集会所（写真下）は狭く、長机もパイプ椅子も少ししかありません。流しはありますが、調理器具はゼロ。すぐに調理できる状態にした食材と道具を持ち込む必要があります。住民は、平日は田畑や仕事に出ており、イベントは土曜日、日曜日しか開けません。

そこで、〈わ〉は狭いスペースでも手軽にできるたこ焼きパーティーを催すことにし、その前後に演芸のパフォーマンスを演じます。サポート隊は計10人で団長は小畑浩昭理事長。たこ焼きチームは食文20期の有志4人（根角光宣、井上久美子、蔵本公子、夏木久子）、演芸チームは民謡・三味線の波多野武郎（食16）、マジック・子ども遊びの古後健一（福18）、腹話術・人形劇の田山映二（福22、現役学生）、手話ソング・体操の橋本敏代さん（福19）の4人と事務局として大槻隆文理事。神戸市社会福祉協議会の活動の1つとして行きます。

益城町は熊本市の東部に隣接する人口約33,000人、

13,000世帯の町。2016年4月14日、16日に震度7の激しい地震に連続で襲われ、甚大な被害が出ました。広報ましき10月号によると死者23人、負傷者128人、全壊2714戸、半壊2909戸。避難所で約200人、仮設団地17か所で1400人が暮らしています。町では建物の解体作業と仮設住宅の建設が同時並行で進んでいます。仮設住宅の入居期限は2年。全壊、大規模半壊、高齢者の世帯が入居しています。

## 9月8日、9日に事前現地調査

グループわ の小畑理事長、市原理事、大槻理事は9月8日、9日に訪問予定の小池島田、赤井、飯野小、安



永仮設団地を訪れ、各自治会長らと懇談、事前調査をしました。小池島田団地の増田自治会長は「田は地割れで稲を植えられなかった。復旧には2年かかる。今、ボランティアに来られても体制ができていないが、10月初めには受け入れ可能になる」、赤井団地の笠井自治会長は「顔見知りや

老人が多い」、飯野小団地の草野自治会長は「イベントは原則小学校の子供たちとすることになっている。お年寄りが喜ぶことをしてほしい。イベントに慣れていない」、安永団地の橋本自治会長は「住民の66%は同じ地区から入居。地震直後は町の駐車場に避難していた」などと話してくれました。（写真 小畑理事長、文 広報 永野知己）

## 夏休みの宿題 できたゾ!

### 工作塾へ子どもら300人

8月21日にしあわせの村研修館で開かれた「夏休み工作塾」では、ソーラーカー教室（1面に掲載）のほか、木工工作、和紙の折り染など3つのブースが設けられ、300人を超す親子連れで大賑わい。子どもたちは苦労して作った作品を手に、「宿題が出来た!」とニコリ。



グループわ は8グループ（木工グループ、ケナフの会、むかしあそび研究会、里山和楽会、花実の森PJ、里山グループ、折り紙グループ

悠々、創エネ神戸）と本部からスタッフ98人が出て子供たちにアドバイスしたり、手伝って、大忙しの日でした。

Aブースは木工。モビール、トラ、車などに挑戦。Bブースはむかしあそびの和紙の折り染。ケナフの会は押し花絵葉書、葉。里山和楽会はネイチャークラフト。Cブースは里山グループと花山梅林会の竹細工とつる細工。花実の森PJはバーニングアート。折り紙グループ悠悠は複雑な折り方を根気よ

く子供たちに教えました。

（文と写真 永野知己）

# 子供の「楽しかった」が励み

水の科学博物館の業務を受託したグループわは、4月1日から庶務1人、受付2人、警備2人のスタッフ5人が毎日、出勤、仕事を始めました。登録スタッフは総数54人。1か月に1人1-3回の勤務。当初は研修、マニュアルとも十分でなく、アタフタすることもありましたが、最近、スタッフもある程度慣れ、「水博くわ」で遊ぼう」「水博縁日」などのイベントを開き、入館者も順調に増えています。スタートして半年がたつと同館のリニューアルが11月から始まるのを機に、広報は、スタッフ誌上座談会を企画、スタッフ6人と同館担当理事の宮田さんにアンケートに答えていただき、まとめました。  
(広報 永野知己)

## ①水博のスタッフになぜ応募しましたか。



**清水** 水博は家から近く、さくらフェアなど家族で何度も行ったことがあったこと。50人ものスタッフが集まらないと思ったので、少しでもお手伝いしたかった。

**岡田** 有償ボランティアのため、自分を律する事が出来ること、その事が健康維持にも役立つと考えた。



**大里** 受付業務という未知の世界に、興味がわいた。再び来館したくなるような接客がしたかった。

**福邊** 過去に水の利用に関わったことがあって、興味があって応募。理科実験、水に関する説明等ができるかなと思っていた。

**米田** 働くことで充実感を覚え、働き続けることで世の中とのつながりを保ちたいと思った。勤務形態が自分のペースで無理なく働けるシェア形式だったため。

## ②スタッフ業務に慣れましたか。月何回、勤務？

**清水** 引継ぎが体系的でなく、単発的な説明で不安になった。自分なりのマニュアルを作り順序だてて見て、できそうな気になった。月約3回勤務。慣れてきた。



**井口** 小さな失敗はあるが、慣れてきたところ。6月までは月に5~6回入ったが、これはイベントや閉館日の団体見学対応(希望者で対応)があったため。結果的に、業務習得に大変、役立った。

**米田** 4月~6月は2人体制ということもあり、月5~6回勤務した。7月からは1人体制になった。

**岡田 大里** 月2、3回勤務。やっと慣れてきた。

**福邊** 業務に関しては大体理解できた。月2回勤務だと間隔が開きすぎ、気持ち的にも中々業務に慣れない。

## ③スタッフ業務で楽しいことはありますか。どんなことですか。来館者の反応は？

**井口** 子どもたちに「楽しかった!ありがとう」と言われたときや、苦労して覚えたことが、上手く出来たとき。スタッフ間の連携が大変、良いこと。来館者の気持ちをくみ取り、喜んで頂けるよう心掛けている。

**清水** まだ知らないスタッフが多いので、毎回新しいスタッフとの雑談が楽しい。「再び学んで他のために」を実践している人たちなので、執務に対する意識は高い。何事にも前向きだし、刺激される。

**岡田** 他のスタッフと話ができ、それぞれの人の幅広い経験談などを聴けること。来られた人が、為になったとか、参考になったとか言って喜んで帰られるとき。

**米田** イベント(七夕、ミニ鉄道、縁日)の準備や応援が楽しい。理科実験を体験すると童心に返った気分。



**大里** 学校から見学に来て、楽しかったからと、後日お父さんと妹で来館して頂き、それを報告にきてくれた時。子供たちが帰る時に、楽しかった、また来たいと感想を言ってもらえた時。

## ④スタッフ業務をしていて困ったこと、むづかしいことは?どう乗り越えましたか。

**清水** 誘導警備は、来館者へ入退時の安全と暖かい対応を意識して、日ごろ執務している。小さなミスはあるが、経験することで、精度はアップすると思う。

**井口** 研修態勢が十分でなく、困ったことや分からないことを、すぐに解決できる態勢になっていない。その態勢づくりと、新任研修制度の確立が急務。リニューアル期間中に、より具体化した業務マニュアルを作成してはどうか。

## 座談会参加者

理事	宮田 幸長	美17期
受付	井口久美子	福16期
受付	大里 翠	福19期
警備	岡田 利勝	食20期
警備	清水 英暢	美12期
庶務	福邊 博之	生17期
庶務	米田八千代	音20期



岡田 未熟なこともあり、入場料金制度が複雑でどの料金を適用するか迷うことがある。外国人が来た時、言葉がわからず、手振り身振りで話す場合。

大里 ハチに刺されて、泣いていた子供、虫に刺されて目の回りを赤くはれた子供さんがいた時。親の了解をえず勝手に薬は使用できないため保冷材で冷やした。

福邊 4月初めに電話による小学校の団体申し込みが殺到し、その処理、対応に困った。勤務2人体制で何とか切り抜けた。下見校が一日10校前後になり更に下見時間帯が集中した時、説明対応に困った。3~4校まとまってもらい、対応した。



米田 一つのデータを、いろんな帳票に入力しなければならぬので、入力漏れやミスが発生する。基になる帳票に入力すれば他の帳票に自動的に入力されるように出来ないか。これについては、庶務担当者から〈わ〉に提言している。日々の業務については、連絡簿を作り、朝一番に目を通すことにした。

⑤連絡体制の改善策を考えていると聞きますがー。

宮田 各担当ごとに連絡窓口になっていただき、各連絡事項を徹底したい。

⑥水博は今後、リニューアルしてより一層の来館者を確保する構えです。どんな企画をすればよいか、設備をどうすればよいとお考えですか。

米田 ①水の音を聞きながら美しい熱帯魚等を鑑賞することができるバーチャル水槽の設置②駐車場、授乳室、ロッカー、多機能型トイレを新設し、夏季期間中は、閉館時間を30分延長する。



井口 ①洋式トイレの増設②授乳室の新設③館内を飲料可に(団体は除外・コーナーを設置)④地域開放の日を設定(年数回):兵庫と近隣区民が対象。(自治会等を通じてチラシを配布)⑤年2回、来館者が少ない時期に、園庭でわんぱく広場を開催する。

岡田 人型ロボットに案内させ、話題を提供。老人会や各種友の会、PTAや割引提携している企業などの有志会にもPR活動を広げる。

福邊 ①一部を公園化し、ピオトープを作り水辺の生き物の生育場所を設ける②神戸の水生生物展示コーナーを作る。(ダム湖に生息する生物・我々の生活用水になる河川にいる生物)③神戸市、兵庫県の名水紹介コーナー設置。



宮田 ①トイレの改修②広報活動の強化・充実③新たな幼稚園、保育園、老人施設への働きかけ④グループわの各ボランティア団体に今以上に、イベントを拡充していただく。

清水 ゆるキャラ(マスコット)をつくり、子どもたちの人気者にする。目玉になる実験、体験設備の充実。3Dなど、今より迫力のある映像が欲しい。体験設備も点数で競うゲーム感覚でできるものがないか。また、小学校、中学校など部門別に「水の博士号」テストの実施はどうか。

⑦今後もこの仕事を続けますか。

大半のメンバー 健康と家庭に問題が生じなければ続けたいと思います。

## 水の科学博物館 大賑わい

〈わ〉がおもてなし

グループわが受託している水の科学博物館のイベント「縁日」が7月23、24日と8月13、14日に同館中庭で開かれました。4日間で1946人が訪れ、大賑わい。各日とも本部から5、6人が参加しました。

中庭にテント3つを張り、その下にブースを設置。〈わ〉は、輪投げとかき氷を担当しました。共同受託の神戸市水道サービス公社関係者はスーパーボールすくいとソースせんべいを、神鋼環境ソリューションズ関係者はおもちゃお魚すくいとポップコーンを担当。とくに輪投げは人気がありました。



シートの上に置かれた賞品に輪がうまくはまると、その賞品が手に入ります。子供たちは真剣そのもの。賞品がもらえるまで7回も8回も挑戦した子もいました。

ソースせんべいは長さ20センチくらいのせんべいに天かす、焼きのり、青のりをのせ、マヨネーズを塗り、上下2枚を張り合わせると出来上がり。大きすぎて、小さな子どもは扱いかねていました。スーパーボールでは、2歳くらいのジンベエ姿の女の子が2回トライし2回とも見事すくいあげました。

親子4人連れの若いお母さんは「ご近所なので、毎年楽しみに来ています」と話してくれました。〈わ〉のわらい届け隊もピエロ姿でプロ級のパフォーマンスを披露、大変な人気でした。

(写真と文 広報・永野知己)

# 「上手な絵」にはにかむ子

青陽東養護学校図工授業サポート

ボランティア最前線



灘区会

図工授業の準備をする中野さん、向崎さん、飯井さん（左から）

「上手だね。センスあるわ」一。図工の福田美和子先生に自分のちぎり絵をほめられた子は、はにかみながらも微笑み、ちょっぴり得意そう。クラスメートがいっせいに拍手します。

灘区会の青陽東養護学校サポートグループは、9月8日朝、同校小学部の図工授業の補助を行いました。飯井冨子さん（一般）、中野邦子さん（生16期）、向崎良男さん（生18期）の3人。授業の準備や、子どもたちに寄り添い、サポートし、教室の掃除や乱雑に散らかった机の上の後片付けをしました。

小学部低学年が終わった後、高学年の14人が授業を受けました。付き添う先生は9人。ふつうの子とほとんど変わらない子からヘッドギアを付けた子まで障害は様々。性格も1人1人違うので、サポートは大変です。

福田先生は「今から図工の勉強を始めます。いつものボランティアさんが、みなさんの世話をしてください。この人たちがいないと授業が成り立ちません。よろしくお願いします」とあいさつして授業開始。子供たちは、色も形も大きさも様々な折り紙型のシールや色紙を好きな形にちぎり、大型の台紙の上に、貼り付けます。はさみで切る子もいます。もう1つは手本の果物のナシを台紙に張り、クレパスで好きな色を塗

ります。福田先生にふざけて銀色のシールを張ったり、居眠りしてしまう子もいました。飯井さんらも子どもを見守り、やさしく声をかけながら、作品作りを手伝っています。

11時過ぎから40分の授業が終わる前、福田先生がこれだと思う作品を2、3枚選び、1枚ずつ、子どもたちに「〇〇さんが描きました」と紹介。「チャララー」と歓声が上がります。福田先生は「楽しんでワーとやった作品ほど面白い」と話していました。



飯井さんの話では、灘区会の図工授業サポートは平成21年10月から開始。養護学校からグループわ本部に要請があり、本部が灘区会につないで始まりまし。サポート登録者は36人。ローテーションを組み、毎週木曜日に平均3人が参加。特定の日に

希望者が重なったり、逆に希望者が1人しかいないこともあり、調整に困ることがあるとか。子どもたちは純真で可愛く、心が温かくなる。ただ、ポスターカラーを使う授業などでは顔、手、服までいっぱい汚れる。後片付けの道具洗い、机や床の拭き掃除も大変とのことでした。このほか、同校の校外学習に付添うサポートも向崎さんが、月3〜4回参加されているそうです。

（文と写真 広報・永野知己）



# ボランティアの心

## 理不尽！ 7歳の子が脳腫瘍

私はずっと「ボランティア」について興味もなく、無関心で過ごしていました。ところが、在学中に何故か「子供の学習支援」の立ち上げに関わることに。 「学習支援」の立ち上げ時の趣旨はあくまで「学習」をと考えていましたが、各学校からの支援要請は「特別学級への支援」が大半。「特別学級って?」。何の知識もなく、障害（知的、心的、身体的）という病気のある児童への支援には不安を感じた事を思い出します。リーダーの趣旨説明に理論的には必要な事だと理解したが、実際に行動に移すには時間がかかりました。卒業4年後、理科の実験ボランティア（2年間）をしていた小学校でやっと特別学級支援への一步を踏み出しました。「障害という病気には同じ症状はない。一人一人の個性と考えてください」と教えいただき、週1回1～5時限迄の支援が現在まで8年間続いています。特別学級の児童たちは「自分だけを見て見て」という感情が非常に強く、学校での存在の薄さを感じ、心が痛みます。鮮明に記憶に残っているのは、平成26年4月、M君が入学、短かっ



たけれど一緒に時間を持てたことです。M君は元気に幼稚園生活を送っていましたが、小学校の入学前（25年12月）病気が発覚。脳腫瘍。手術。4月末から車いすでお母さんと一緒に小学校生活をスタートしました。丸坊主の本当に可愛いM君でした。本の読み聞かせ、たくさんの友達と一緒にの教室で、手を添えて絵を描き、運動会の練習を応援し、音楽会の練習では私と一緒に鈴でリズムを

とり、一生懸命頑張りました。7歳の誕生日にはたんぼぼ学級のみんなでお祝いもしました。徐々に体力が落ちてゆくM君をお母さんは本当に強い強い愛で見守っておられました。その姿に唯々頭が下がり少しでもお役に立ちたい気持ちで一杯でした。わずか7歳の子に、この試練は辛すぎ、理不尽だ

なぁと痛感しました。10か月足らずの短い間でしたが、私の長い人生の中でも特別な経験でした。ボランティアとは「何かしらお役に立てた。ありがとうって言ってもらえて良かったと思えること。まだ自分を必要としてくれる人がいると喜べること」そして「ありがとう」と言えることだと思います。最後に、愚痴も言わず私を最寄り駅まで送り迎えをしてくれる主人を初め、ほかの多くの人々に支えられて生きているのだと改めて思いました。（長谷川 雅江 福9

## 水博イベント できた！キティちゃん

### 〈わ〉と遊ぶ バーニングアート

水の科学博物館の夏のイベント「ものづくり、〈わ〉で遊ぼう」が8月2日から14日まで開かれました。花実の森プロジェクト、ケナフの会、たんすの肥やし、楽遊クラブ銀雅、むかしあそび研究会、木工グループ、うらしまたろう、野草クラブ、里山和楽会、KSCマジッククラブのほか竹細工有志が参加しました。



8月3日は花実の森のバーニングアート。井口久美子、橋野美子、俵貴志子、田路義弘さんが親子連れらに作

り方を教えました。まず、サンプルの中から好みの絵を選び、その上にトレーシングペーパーをのせて鉛筆でなぞって下絵を描きます。次に、写し取った下絵を板にのせ、テープで固定。下絵と板の間にカーボン紙を挟んで図案をなぞり、板に写し取ります。板の図案を電熱ペンで焦がせると出来上がりです。板に直接、絵やサインを描き、電熱ペンで焦がす人もいます。

キティちゃんを描いた7歳の女の子は「できた！」と叫び、にっこり。スタッフも「ワー、うまい！」とほめます。女の子は「力をいれすぎて指が痛い。疲れた」とお母さんを振り返り甘えていました。

（写真と文 広報・永野知己）

**マジックの祭典 11月13日開催** KSCマジッククラブ (OB) KSCマジック同好会 (学生) 共催で、第14回マジックの祭典を11月13日、村内のたんぼぼの家大ホールで開催します。午後1時開演。約3時間、妙技を披露します。入場無料。

# 活動レポート

## 花実の森 親子カブトムシ生育観察会

5月22日に幼虫観察会、7月17日に成虫観察会を開催し、40人を超える親子が参加しました。この観察会は年間を通して里山に棲むカブトムシの生育観察をしながら、里山を知り体験するイベントです。

成虫観察会では、持ち帰りペアの飼育ケースに入れる「カブトムシの遊び棒・登り棒」づくりを体験してもらいました。自分たちでノコを使っての切断加工。これも自然環境体験のひとつ。2年生以下の子どもたちには親子の共同作業で作ってもらいました。心配していた成虫も、オス・メスのペアで持ち帰ってもらえることが出来、しっかり育て観察してもらうことにしました。



## 国際部会 国際部会のイベント支援

9月19日から23日までの5日間、神戸ポートピアホテルで開かれた「原子燃料の容器と運搬」という国際会議にて、国際部会が、生け花体験、インフォメーション、晚餐会でのイベントなどの通訳ボランティアを行いました。国際部会より8人の会員が支援をしました。

## 東灘区会

**総会開催** 5月17日に六甲アイランドホテルプラザ神戸で区会総会を開催。30人が参加し各議題を審議承認。昼食後「マジッククラブ」3人がそれぞれ特徴のあるマジック、昨年と同じ「ト音記号」の音楽、歌声喫茶雰囲気の中終了しました。

**遊喜幼稚園・のぞみ幼稚園** 6月は玉葱、ジャガイモの収穫。遊喜幼稚園は50人弱、のぞみ幼稚園は170人と園児の人数は違いますが、園児の顔は好奇心一杯で土遊びを兼ね、収穫しました。思い出に残ってくれればと念じています。

## 中央区会

**老人福祉施設 夏祭り応援** とりわけ暑かった今年の夏！私たちは東の間のクールスポットを求めて、今年も元気に「老人福祉施設・夏祭り」のボランティアに参加しました。7月31日は「老人保健施設こうべ」、8月21日は「特別養護老人ホーム・真愛ホーム」で、施設利用者・入居者及びこれらの方々のご家族、そして施設スタッフの方々と一緒に毎年の恒例の夏祭りを楽しみました。

私たちは屋台や昔遊びコーナーを、3~4グループに分かれてお世話しましたが、やっぱり夏祭りとなれば入場者もスタッフもみんなが一緒になって楽しむのが

定番です。そこで、私たちも、時には冷たいビールにおでんなどを摘みながら、会場の皆さんとの愉快的会話も交え、この夏祭りがより楽しく盛り上がるように努めさせて頂きました。

## 北区会

**新会員歓迎会開催** 5月25日の定例運営会議後、たんぼぼのカサブランカレストランで北区会新会員歓迎昼食会を開催しました。新会員6人、運営委員17人で歓談しながら会食。北区の活動状況説明及び運営委員へ参加を要請し終わりました。

**車椅子テニス神戸オープン大会** 4月28日~5月1日、三木ブルボンビーンズドームにて車椅子ITFテニス神戸オープン大会が開催され、北区会員7人はくわ国際部会と共に、選手の送迎ホテル会場間連絡バス添乗、場内での飲み物弁当配布などを担当しました。

## 須磨区会

**須磨海岸清掃活動** 7月から月曜日毎の活動です。週明けの早朝決まって現れるピンクのゼッケンの集団に目をとめて励ましのことばをかけてくれる人も現れています。

喫煙も花火も禁止されている海浜には吸い殻も花火の燃え殻も《あってはならない》はずです。無くしておけば捨てるにくなる、それが私どもの考えです。

清掃活動はすでに18年目。『継続は力なり』です。効果も次第に現れています。長く活動を続け、気持ちよい須磨海岸を守って行こうと思います。



## 垂水区会

**舞子駅周辺美緑花** JR舞子駅南側公園と国道2号線近辺の清掃を毎月20日AM10:00~11:00にKSC現役「みどりの会」との協働で実施しています。

7月20日は総勢14名での活動でした。活動は至って簡単、火箸とポリ袋を手にとりペットボトル、空き缶、ゴミ等を回収して回りました。

我々垂水区に住む者にとって舞子駅周辺は誇れる地域でもあり、いつまでも綺麗に保つために何かしたいという気持ちは自然に湧いてくるように思います。ほんの僅かな活動ですが、続けて行くことで少しでもお役に立てていると思います。

**グラウンドゴルフ大会開催** 7月10日に舞子苔谷公園において開催。参加者26名(うち女性3名)。垂水区GG同好会から13人が参加し初心者指導。それぞれの経験であったと思います。26人が8チームに分かれて3Rのゲーム形式。ホールインワンが初参加2人を含め10人が、合計で14回も達成し大いに盛りあがりました。

(編集 広報 岡本紘一)



# カレッジだより



## 学園祭盛大に開催される

10月8日(土)曇天の下、「輪の力、試そう、見せよう、学園祭」の合言葉を掲げて開催された学園祭に、グループわ も多くの会員が参加しました。

学園祭への来場者数は約2,700人で、多くのOBの姿も見受けられました。

### 中庭にも多数出店

今年も、国際部会がシアトルクラムチャウダーとマンマーコーヒーを販売、クリーミーで美味しいとの評判でした。隣には、OBカレーの店(食文20期)が出店し、用意した350食が完売しました。マンマーの民芸品も販売しており、多くの方が買っておられました。また、環境部会から新グループの「愛Deer∞」が鹿肉のロールサンドを初めて販売し、大変好評で完売しました。木工グループの店は、現役生とOBによる多数の手作り作品の展示販売を行っていました。今年は昨年からの反省から、きちんと整列し、開店前から長い行列が来ていましたが、混乱もなく円滑な販売風景でした。

ケナフの会もケナフ炭、竹炭、ケナフ染めのスカーフなどが販売されて入り、説明を聞きながら多くの皆さんが、作品を買いたい求めています。

### カレッジホールのステージ

立ち見が出る程大盛況でした。OBも多数出演していました。

### ふれあいホール

15枚の展示パネルに、本部活動・区会活動・部会活動などグループわ の日頃の活動などを展示して、現役生などにPRしました。



2Fの同窓会の部屋にも、多くのOBが訪れていました。  
(広報 岡本絃一 藤田健一)

## たのしいあきまつり開催

9月19(月)敬老の日の13時~16時まで、神戸市総合児童センター(こべっこランド)7階ホールで『たのしいあきまつり』を開催し、予想を大きく上回る758名の親子連れに参加いただきました。子供さんに喜んでもらえるように、むか



紙芝居をスクリーンで鑑賞

しあそび研究会・

うらしまたろう・おはなし糸車・ぐるーぷわ 本部が企画・担当しました。初めての



の試みでしたが、好評につき来年以降も継続するのではと期待しています。

(広報 藤田健一)

## 水博ミニ縁日で野点を体験

9月24日~25日の二日間水博ミニ縁日を開催し、特に25日の10時~15時までは、グループわ のメンバーが野点を企画し、同館東側の庭園でお茶席を設営し、お子様連れのご家族も含めて、多くの皆さんに抹茶を味わっていただきました。子供さんにも美味しい(?)と喜んでいただきました。



縁日では、〈わ〉のメンバーが中心となって、ソースせんべい・スーパーボールすくい・ポップコーン・金魚すくい・ラムネ・大きな風船・射的など、どのブースも子供さんたちに大変好評でした。

(広報 藤田健一)

## グループわ 10月～12月のイベント

開催日時・場所	テーマ・内容と協力グループ	連絡先
10月15日(土) しあわせの村	グラウンドゴルフ大会 協力：北区会	グループわ 743-8101
10月29日(土) しあわせの村	野鳥観察会 協力：野鳥と自然観察会	グループわ 743-8101
11月21日(月) 甲山森林公園	秋の森林浴ウオーク 協力：森の仲間	グループわ 743-8101

### ふれあいホールで神戸空襲写真展

神戸空襲写真展が、8月3日～9日までシルバーカレッジふれあいホールにて、平和を願って開催されました。あまりにも悲惨な神戸空襲写真の他に、区毎の「戦跡マップ」と「平和マップ」、各都市の平和記念館の紹介、平和を願って活動しているグループの取り組みの紹介などと共に、グループわ 学習支援委員会「戦争と平和学習語り部チーム」の活動紹介が展示されました。



約800人が訪れて、熱心に見て回り、平和の尊さを実感していました。(広報 岡本統一)

### 戦争体験者のお話を聞く会

「焼夷弾が雨のように降ってくる中を逃げまどいました!」。8月6日～7日にシルバーカレッジの教室で、戦争体験者のお話を聞く会が開かれました。

グループわ 学習支援委員会「戦争と平和学習語り部チーム」5人より、神戸大空襲下の体験談、学童集団疎開の体験談などが、小中学校での授業と

同じ内容で、パワーポイントを用いて説明がありました。

大空襲で、三ノ宮駅近くから県庁付近まで逃げた際の実体験の話。雨のように降ってくる焼夷弾の中を必死で逃げ惑う恐怖、悲惨な街の様子、連



れて逃げてくれた消防団員の焼夷弾での死などの迫力のある話でした。神戸大空襲では死者7,491人、負傷者17,014人、142,000戸被災。諏訪山小学校から加古川市常楽寺への集団疎開での体験談。食べ物が少なく腹が減り蛙やいなごなどを食べたこと、田んぼの田植えや草取りを手伝い握り飯をおいしく食べたこと、ノミやシラミに苦しんだこと、家族が恋しくて泣いたことなどの実体験の話でした。「戦争のない平和な社会に暮らせることに感謝したい!」とむすばれました。



約100人が参加して、迫力ある話を聞きました。

(広報 岡本統一)



## WAからのお知らせ



**〈わ〉の会員総数1,439人！** 8月31日現在  
**〈わ〉の新旧役員が懇親会** 第8回新旧役員交流会が、7月22日湊川神社 楠公会館にて開かれ、37人が参加。加藤勇治会長と小畑浩昭理事長の挨拶の後、水町亮治副理事長が、〈わ〉の設立20周年記念事業の準備状況について説明しました。その後、夕食を共にしながら、テーブル毎の代表が挨拶を続け、約2時間にわたって旧交を温めました。

### 文化部会に新クラブ誕生

**須磨トレモロクラブ** (國井洋三代表9名)

私たちは、須磨区民センターのハーモニカ講座の受講生仲間で、10数年前に介護施設をボランティアで友愛訪問し、大変喜ばれたのがキッカケで「須磨トレモロクラブ」を結成しました。

現在は月1~2回定例会を開き練習しています。

自治会の催しやイベント会場、介護施設などから依頼があれば、積極的に参加して度胸と腕試しをしながら、同時に自信を高めています。ハーモニカ以外に女性の口笛やハンドベル、篠笛などリクエストがあれば演奏します。今後も〈わ〉を通じて幅広く活動の場を広げたく思います。

### 混声合唱団コーロKSC 第10回定期演奏会

☆日時 11月27日(日) 開場13時30分、開演14時

☆場所 神戸文化ホール・大ホール 入場無料。

☆演奏曲 第1-9回の定期演奏会での演奏曲から

地上の星等4曲(混声合唱) 落葉樹(女性合唱)  
Sing Along 婆やのお家(男声合唱) ポピュラー  
曲アラカルト4曲 混声合唱組曲から5曲。

### 神戸市社会福祉大会

#### 文化部会 うらしまたろうに感謝状

9月6日に神戸文化ホールで、うらしまたろう(藤井健次代表)に神戸市社会福祉協議会より理事長感謝状が贈られました。平成18年4月から社会福祉施設で民踊や南京玉すだれ等の芸芸出演の奉仕をされていることが評価されました。

#### カレッジ まちかどキャンパス

12月3日午後1時から神戸市勤労会館にて開催。

ウーキングの講演・実技、JAZZ演奏、二胡コンサート

●おわび 本誌7月号P5の「わで遊ぶイベント中」「マジックの古後代表」は正確には「マジックを演じた古後代表」でした。おわびして訂正します。

●77号(1月号)の発行2017年1月中旬です。

## しあわせの村まつり わんぱく広場

「すべての遊びを回ろうかな！」7月30日午後4時から開かれたしあわせの村まつりのわんぱく広場で、子どもたちはいきいきと遊びに挑戦をしていました。

このわんぱく広場はグループわが担当し、「むかしあそび研究会」がコマまわし、紙トンボ、ぶんぶんごま、はねかえる、ヨーヨーつり、割り箸鉄砲、竹馬など、「うらしまたろう」はバルーンアートと皿回し、「本部」は、妖怪ホイホイと輪投げのコーナーを設けまし

た。ヨーヨーつり、バルーンアート、スリッパでポンの妖怪ホイホイなどに長い行列ができていました。また親子づれが多く、

竹馬、コマ回し、皿回しなどに一緒に挑戦していて、笑顔と歓声が上がっていました。スタッフは約55人が、炎天下の下、汗だくで休む暇も無く、午後6時半まで、多くの子どもたちに遊びを教えていました。

また環境部会の新グループ「愛Deer∞」が中央緑道にヘルシーな鹿肉料理の店を出して賑わっていました。

(広報 岡本統一)



## 編集後記



★灘区会の青陽東養護学校での学習支援、児童への細やかな心配りはもちろんですが、図工授業後の掃除も丁寧。ロッカーの壁には①机の下に危険な物が落ちていないか気を付ける②集めたゴミはきちんと分別するーなどと書いた張り紙があり、感心しました。(永野知己)

★ぎゅらりーわと共に、皆様のご活躍を出来るだけ速く、多くホームページに掲載して、会員相互の情報交換を盛んにするために、今年1年間に400件以上の情報掲載を目標にしています。掲載情報のご提供をよろしくお願いいたします。(岡本統一)

★20周年記念用のDVDの作成に奮闘しています。記念イベントを除く部分(本部区会部会活動の概要など)について、その骨格となるテスト版がほぼ完成し、今後部会メンバーのご意見等を反映した上で、1月開催予定の全体会議にテスト版の上映が出来るように頑張っています。(藤田健一)

グループわ 本部のメールアドレス

広報・ホームページ wa\_gallery@wa-net.jp

代表・総務・学習支援 group\_wa@wa-net.jp

事業・パソコン教室 : wa\_support@wa-net.jp

## 〈わ〉夏秋のイベント特集



しあわせの村まつり バルーンアートを楽しむ子どもら (7月30日)



工作塾 ケナフ染めに挑戦 (8月21日)

### トピックス



昆虫採集さあ、行くぞ、野外活動センター前に勢ぞろい (8月7日)



水博ミニ縁日 前庭で野点 (9月25日)



こべっこランド秋祭り 輪投げに挑戦 (9月19日)



水博縁日 わらい届け隊のパフォーマンス (7月23日)

写真 広報・永野知己、岡本紘一、藤田健一